
トワイタイム～あるピカチュウの物語～

フラットキラー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トワイタイム〜あるピカチュウの物語〜

【Nコード】

N7072V

【作者名】

フラットキラー

【あらすじ】

めざすは探検家の最高位“ギルドマスターランク”
小さな村に住む探検大好きなピカチュウととりあえず何か変な周りの真面目かもしれない物語（え
うごメモとダイアリーで僕が作っているストーリーと関連してたりして無かったりしています（どっちだよ
初心者ですがどうぞよろしくお願いします

p・ハジマリ

ここは温暖な気候で大きな事件なども無く平和な村
その村の隅にある小さな家から、何やら考え事をしている様な表情
の1匹のピカチュウが出てくる

そのピカチュウは一般的なそれと少々違っていた
まず、身長が42cm

つまり若干背が高い

そして、左耳と尻尾に薄い緑色の線が入っていた
ライン

話を戻そう

どうやら彼は技か何かについて考えている様で、時折頬や腕からバ
チバチと電気を放っている

すると突然、村の近くの森からものすごい爆音が響いてくる
彼は、はっと顔を上げて音のした方を見渡す
その方向に青っぽい光と真っ黒なエネルギー体をちらりと見つける
と、彼は急に走り出した

音に驚いて飛び出してきていた村のポケモン達は「またアイツらか・
・」とでも言いたそうな顔をして戻って行った

伝説の探検隊が世界を救ってから12年が過ぎていた

p ハジマリ（後書き）

更新遅いと思いますが生暖かい目で見守って下さるとうれしいです
（え

f・ニチジョウ

僕は音を頼りに森の中を走っていた
え？高速移動を使っただよ？

ものすごいスピードで突き進んでいる僕が通り過ぎると近くにいた
ポケモン達が「何が起きたんだ？」という表情になる

えーと…自己紹介でもしとこうかな

僕は^{クラッシュ}Crush ^{ダウニー}Downey
まあcrushとでも呼んでよ

あ、ちなみにクラッシュ（カタカナ発音）だとややこしくなるから
気をつけてね

え？何がかつて？
…それはそのうち

‘ハジマリ’に出てたのも僕だからね
フッフ

森の中の開けた^{ひろ}ところが見えてくると僕はスパートをかける

そこに着くと見慣れたバトルの光景が…
「って言っただいかなあ…」

なぜ迷うかというと、はつきり言っただけ他人^{たが}から見るとコレはバトル

とかいうレベルじゃないn「クリスタルシュート！」

「甘いぞ！喰らえゼロホール！！」

「くっ…チェンジ！クリスタルブーストオオオ！」

「ハッハッハ！ゼロホールは全てを飲み込み全てを無に帰す漆黒の
穴だ！そんなもの効果無い！」
ブラックホ

……相変わらずだ

このままだとまた森が吹っ飛びかねない

「…さあお二人さん？そろそろ終わってくれないかな？」

僕は笑顔で静かにそう言う

「あ、お兄ちゃん」

「お？ラッシュどうしたんだ？」

それぞれが技を一旦止めてこちらに振り向く
どうしたんだって…自覚ないのか

…とりあえずこの2人を紹介しとこうか

まず僕の弟ピチュくん

え？もちろんニッケネームだよ？

まあ今のでわかったと思うけど種族はピチュー
なんかクリスタルを自由に扱える

特徴はいつもスカーフをつけてるトコかな…首じゃなくて左耳に

で、僕をラッシュって呼んだ方がCrash

ん？違う違う

僕はuでこっちはa

だから僕はいつも彼のことaって呼んでるんだ
種族は僕と同じピカチュウ

えーとaは重力を操れるんだ

特徴は右耳と尻尾に赤の線ラインが入ってるトコ

僕のと違ってギザギザだけだね

「もしかしてラッシュ、俺と戦バトルってくれるのか？いやあーありがたいなあー！」

「そんなわけ無いでしょ。近所迷惑だから止めに來たんだっての」

実際、村のポケモンからの苦情が絶えなかったりする

「良いじゃないかちょっとぐらい。なあクロ？」

「無理やり連れてきていて僕にふらないでよお父さん」

ピチュくんが不機嫌な顔でそう言う

ホントに困った親だよなあ

…因みにクロっていうのもニックネームだから

「まあ、そんな訳だから帰るよ」

「ええー俺だってバトルしたいんだってのにー！」

子供か！！

僕は心の中でつつこみながらaの尻尾を持ってそのまま歩き出す

「痛い！痛いって！！尻尾引つ張るなあー！！」

ピチュくんもやれやれと首を振って歩き始める

こんな事が日常だつたりする

crush現在のリンク、マスターリンク

f・ニチジョウ（後書き）

ピ「更新遅すぎるよ！クリスタルシュート！！」

げはあつつ！？

a「はっはっはwツボツボみたいに遅いな」

ヒデエ…

c「という訳で僕はc r u s hだよ！よろしく！

…え？いきなりランクがおかしい？気のせいサw」

では！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7072v/>

トワイタイム～あるピカチュウの物語～

2011年10月10日09時56分発行